

市川市立南行徳小学校学校だより



南行通信

自分もみんなも大切にする子供を育てる

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

令和7年7月18日

校長 中村 由美子



いよいよ明日から夏休みに入ります。

今日は、全校児童が集まって、「夏休みを迎える会」を行いました。体育館に集まった子どもたちの表情には、もうすぐ始まる夏休みへの期待が溢れていたように感じました。4月から今日まで、子どもたちは様々なことを経験し成長したことを伝えました。廊下のフックにきちんとバックや袋をかけたり、下駄箱に靴がきちんと入っていたり、多くの人が共に生活をする学校で、安全に気持ちよく過ごすためのルールやマナーを意識をする姿が多くなりました。また、学習では、新しいことを知り、できなかったことができた喜びを味わい、時には友達とぶつかり合いながら学んでいました。ところで、私たちが普段使っている「学ぶ」という言葉の語源は、「真似る(まねる)」が「まねぶ」に変化し「学ぶ」になったとする説があります。学校生活でも、様々な友達と過ごす中で、真似をしあいながら、多くのことを学んでいます。



靴が、きちんと入っている下駄箱です

今日の「夏休みを迎える会」では、6年生が先に入場し、静かに待っていました。その姿を見た下学年の子供たちもおしゃべりをすることなく話を聞くことができ、素晴らしい会となりました。私は中学校の時、担任から「人の振り見て我が振り直せ」という言葉は、人のよいところ、そうでないところをどう自分に取り入れるか判断する目を養えという意味だと教わりました。子供たちが、様々な友達や教職員とかかわり、自分が真似をする姿、真似をしない姿はどんな姿かを判断する力をつけることは、子供たちの人生が豊かすると信じています。今日の「夏休みを迎える会」では、子供たちが6年生の「静かに聞く姿」の真似をして、大勢が集まった時のあるべき姿を学んでいました。

長い夏休みが始まりますが、この期間もまた、子どもたちにとって大きな学びの機会となることでしょう。普段できないことに挑戦したり、地域の人々と交流したり、あるいは家族とゆっくり過ごす時間の中で、多くの「真似る」べきこと、そして「学ぶ」べきことに会ってほしいと思います。

この夏休みが、子どもたちにとっては、心身ともに健やかに成長できる実り多き時間となることを願っています。そして、また9月に、ひと回りもふた回りも大きくなった子供たちに会えることを楽しみにしています。

4月から今日までの教育活動では、保護者の皆様に様々なご心配をおかけしたことを心よりお詫び申し上げますとともに、ご理解とご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

朝読書

4月から毎週水曜日の8時25分から40分を朝読書の時間としています。



時間になるとシーンとなった教室で静かに本を読む教室もあれば、担任が読み聞かせをしている教室もあります。週に15分ですが、落ち着いて本を読む時間を作っています。(1年生は、順次始めていきます。)

夏休みに各学年で「家読」を課題としています。ご家庭でも、時間や曜日を決めて本を読む習慣を継続していただけると幸いです。

お知らせ

3年2組担任横山朝華教諭は、8月末より産前休暇に入ります。9月から赴任する職員が3年2組担任となる予定です。また、6月より勤務しておりました関陽介教諭は、9月より他校にて勤務いたします。